



好摩地区

地域づくり計画策定に向けて始動

好摩地区まちづくり協議会（高橋龍次会長）は、11月19日（水）、26日（水）に好摩地区コミュニティセンターで地域づくり計画策定に向けたワークショップを行いました。

第1回目は好摩地区の「将来像・やりたいこと」、「良いところ・好きなところ」について、第2回目は好摩地区の「課題や問題点」について、約50人の参加者が8つのグループに分かれて意見を出し合ったほか、課題を解決するためにできることについて考えました。

地域に対する思いが強い皆さんの意見交換は終始活発に行われ、好摩地区の参加者全員が将来を真剣に考えている様子が伝わってきました。

これらのワークショップの結果をふま



【それぞれの思いを模造紙にまとめます】

えて、12月中にアンケート調査を実施予定。ワークショップ参加者以外の意見も把握したうえで、来月1月には地域づくりの方向性や事業内容を考えるためのワークショップが予定されています。



【まとめた意見を発表し、全員で共有します】



【多くの地域の方々が参加しました】

つなぎ地区黒塀プロジェクトを実施



つなぎ地区振興福祉推進協議会(高橋金兵衛会長)は、11月8日(土)、19日(水)の2回に渡り、まちづくり計画書に基づく「黒塀プロジェクト」を行いました。

このプロジェクトは、「温泉街らしい景観づくり」事業の一環。温泉のあるまちとしての特色を生かし、観光客も住民も癒される環境にするために、温泉街に黒い木塀を設置しようという取組です。

木塀はつなぎ町内会が市産材を活用して設置したもの。この木塀に黒いペンキを塗る作業を行いました。つなぎ地区を活動拠点としているグルージャ盛岡の選手やスタッフも作業に参加し、全3カ所の黒塀が

完成。周囲と調和した景観に参加者も満足した様子で笑顔で完成を喜びました。つなぎ地区では、来年度以降も黒塀を増やしていく予定です。



【地区の人たちで色を塗って完成させます】

全3回の地域協働講座

「まちづくりスタートアップセミナー」が終了

市は、地域活動を推進するために必要な知識・技術を学び、まちづくり活動に役立てていただくため、地域協働講座を開催しました。

11月1日(土)は「理屈を理解し、目的にあった手法を学ぶ」がテーマ。

初めに、様々なワークショップの技法の紹介があった後、集まった情報をまとめる「KJ法」、話し合いなどで出た課題の原因を追究する「フィッシュボーン」の2つを体験し、その違いについて学習しました。

参加者は講座の中では、住んでいる地域の良いところや課題などを語り合うなど、

活発な意見交換を行いました。

11月15日(土)は「事業計画の作成方法を学ぶ」がテーマ。

「盛岡市動物公園のリニューアル」を題材として、動物公園を仮想の地域に見立て、「どのような施設にしたいか」、「どんな工夫が必要か」を自分たちの「理想の地区」と結びつけるように話し合い、まちづくりを行う際の事業の組み立て方を学びました。

地域課題を解決するための取組を計画にまとめる手法を身に付け、これまでの全3回の講座で学んだことが、地域活動に活用されることが期待されます。



【体験をとおして技法を学びます】



【理想の動物園について発表しました】